

特集

姉妹町多良木町との児童交流



遠く離れていても
繋がる絆と友情!



多良木町のお出迎え



出発式

出発の朝、生涯学習センター「ぼろろ」に集合し、出発式を行いました。児童を代表して坂上幸一くんが決意表明を述べた後、いよいよ出発です。あいにくの雨模様でしたが、たくさんの方々に見送られ、新千歳空港へ向かいました。



①岡田裕明訪問団長の挨拶
②瀬川夏生さん（南幌小）の挨拶

羽田空港を経由し鹿児島空港に到着。荷物を受け取り、バスへ乗るため外に出ると、北海道とは違う夏の暑さに、児童たちは口々に「暑い！」と声を出していました。

多良木町のバスに乗り、「多良木町交流館石倉」へ。そこでは大勢の多良木町の方々が拍手とともに温かく出迎えてくれました。歓迎レセプションでは、多良木町の松本町長と、久米小学校の恒松校長から歓迎の挨拶を、久米小学校の宮原莉朱さんからは歓迎の言葉をいただきました。南幌町からは、南幌小学校の岡田校長が訪問団長の挨拶をし、児童を代表して瀬川夏生さんが訪問



多良木町児童との夕食会

の言葉を述べました。また、相原瑞香さん、梶田涼花さん、榊原愛加さんが、スクリーンに映された数々の写真とともに、南幌町の紹介をし、その後、一人ひとりが挨拶で、楽しみにしていることなどを多良木町の皆さんの前で発表しました。

歓迎レセプションの後は夕食会です。初対面の多良木町の児童たちともすぐに打ち解け、みんなで楽しく食事をしました。その後、両町の児童みんなで温泉「えびすの湯」へ行き一日の疲れを癒し、「ブルートレインたらぎ」で宿泊です。ワイワイとにぎやかに寝る準備をし、お話をしたりして、楽しく一泊しました。



高さ7メートルの崖からダイビング！！



球磨川でラフティング
なまら気持ちいい！！



ヤマメの塩焼き



ひんやり流しそうめん

2日目の朝、準備を済ませ、児童みんなが楽しみにしていたラフティングに出発。日本三大急流のひとつである球磨川を、ゴムボートに乗って下ります。まずは高い岩場からの飛び込みです。飛び込みポイントは2カ所あり、高いほうと低いほうに分かれて、全員が川に飛び込みました。川の水は心地良



古代の風 黒の蔵

い冷たさで、一気に涼しくなりました。その後、再びゴムボートに乗り、掛け声に合わせてパドルを動かして、協力しながら川を下りました。みんなゴムボートの上に立ち、円形に手をつないで背中から倒れて川に入ったり、ゴムボートの先端に座り急流でロデオのようになったりして、球磨川の流れを思い切り楽しみました。

ラフティングの後は「一勝地温泉かわせみ」で体を温め、宮ヶ野小学校での昼食です。ヤマメの塩焼きやバーベキュー、竹を使ったの流しそうめん、おにぎりなど、南幌ではなかなか体験できない



おおだてこはく
大館香珀さん(左)
と多良木小/
にしきみは
西季三葉さん

私の多良木町の一番の思い出はラフティングです。5メートルもありそうな崖から飛び降りたり、他の班に水をかけたりと楽しかったです。熊本は暑く、夏の遊びをいっぱいしてもらいました。南幌町にみんなが来た時は、冬の遊びをいっぱいして遊びたいです。またみんなと会えるのが今から楽しみです。

その後、多良木町役場へ移動し、いよいよ民泊です。民泊家庭からのお迎えがあり、児童それぞれが元気に出発していきました。

い食事を美味しくいただきました。昼食後は、多良木町埋蔵文化財等センター「古代の風黒の蔵」へ行き、多良木町で発掘された文化遺産の展示を見学し、多良木町の歴史を学びました。そこでかき氷をいただきました。ビニール袋入りのかき氷は初めてで、児童たちは珍しくて美味しく食べていました。



よしの はるや
吉野晴哉君(左)
と黒肥地小/
しまだ しょういちろう
嶋田尚一郎君

4日間で一番楽しかったことは、ラフティングです。とても急だったし、崖から飛び降りとても楽しかったです。多良木町は、南幌と違いとても暑くて昔の建物があり歴史が感じられました。民泊家庭の人は優しくとても明るい家族でした。色々な場所に連れて行ってもらいました。箸を作ったり、キーホルダーを作ったりしました。球泉洞などに行ったり川で遊んだりしました。とても楽しかったです。訪問が終わって貴重な体験ができたと思うし、とてもお世話になったので恩返しのつもりで色々なことをしてあげたいです。2月の受け入れ時は一緒に雪遊びをしたり、スキーをしたり熊本にはないことをさせてあげたいです。



4日間の貴重な
経験を綴ります！



多良木最後の夜の思い出



多良木高校生徒の手作りカレー



多良木VS南幌
勝負の行方は!

**多良木の夏を
遊びつくせ!**



3日目の夕方、民泊家庭でたくさんのお楽しみ経験をさせていただいた児童たちが、多良木高校セミナーハウスに元気に集合しました。施設の説明を受けてから外へ行き多良木高校のお兄さんお姉さんが案内してくれました。高校のグラウンドで、鉄棒をしたり、多良木高校生と徒競走が始まったり、体を動かして楽しく過ごした後、食堂に集合し、多良木高校生徒の手作りカレーライスをいただきました。その後、体育館でビーチバレー大会です。南幌町でのミニバレーとボールは似ていますが、必ず3回3人で相手コートに返す、サーブは下から、ラインを越えてアタックできないなど独自のルールがあります。南幌町の児童で男女各1チーム、多良木町の児童



で男女各1チーム、多良木高校生チーム、引率者チームの計6チームに分かれ、いざプレー開始。最初は独自のルールに戸惑いましたが、チーム総当たりで頑張り汗を流しました。ビーチバレーの後には花火です。多良木高校のお兄さんお姉さんが準備してくれた花火をみんなで楽しみました。たっぷり汗をかいた後は、みんなでお風呂に入り、男女に分かれた大部屋で最後の夜を過ごしました。



せがわ なつき
瀬川夏生さん(左)
と久米小/
ふるかわ ゆめ
古川友愛さん

私が多良木町を訪問して一番心に残ったことは、ラフティングです。北海道よりも波が高く迫力がありました。古川さんのお宅に訪問してすぐ言葉の違いを感じました。古川さんにも色々な所に連れてってもらい楽しかったです。訪問が終わるとあつという間でした。受け入れ時はたくさんのおもてなしをもらいます。



さかがみこういち
坂上幸一君(右)
と多良木小/
さとう しき
佐藤志希君

僕は多良木町に行って一番楽しかった事とは、球磨川でのラフティングです。修学旅行の時とは違い、川の流れがとても速く、水しぶきが沢山かかったからです。次に楽しかった事は、民泊家庭の佐藤志希君の家に泊まったことです。ですから、来年の2月に多良木町の皆さんが来る際には、たくさんのおもてなしをしたいです。



かじた すずか
梶田涼花さん(左)
と黒肥地小/
くいだ かりん
飯田華鈴さん

私が多良木町訪問4日間で一番の思い出に残ったことは、民泊家庭の飯田華鈴ちゃん家族と行った人吉鉄道ミュージアムもぞかステーションでの電車からの景色がきれいだった事と、石野公園でお箸づくりをしたことです。細かい作業が苦手な私はおっかなびっくりしながらも何とか作ることができ、いい記念になりました。2月に会う時にも沢山の思い出を作りたいです。



むらかみ やまと
村上大和君(左)
と久米小/
きたさき ともき
北崎友貴君

僕が、多良木町との交流で心に残ったことは、ラフティングと、初めての流しそうめんです。熊本の川の流れは急でスリルがありました。民泊では、友貴君の家でゲームをしたり花火をしました。次の日は、ヤマメ釣りに連れて行ってもらいました。冬に友貴君が来たときは、雪で思いっきり遊び、スキーを教えてください。



お別れの言葉

- ①北崎友貴君（久米小）の挨拶
- ②大館香珀さん（南幌小）の挨拶



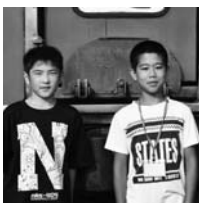
最終日の朝、多良木町役場でお別れ会が行われました。多良木町の松本町長のお別れの挨拶の後、南幌小学校の岡田校長が謝辞を述べ、お別れの言葉を多良木町児童代表の久米小学校の北崎友貴くん、南幌町児童代表の大館香珀さんが発表しました。お別れ会を終え、多良木町役場で記念撮影をし、多良木町の児童や民泊家庭のご家族とお別れをして、バスに乗



り込みました。2月の再会を約束して、大勢の方々に見送られ、役場前を出発しました。多良木駅から人吉駅まで、くま川鉄道で移動します。多良木町役場でお別れした児童や民泊家庭の方々が多良木駅まで見送りに来てくれました。電車に乗り込み、いよいよ多良木町とお別れです。人吉駅に到着し、バスに乗って、今回の熊本地震で甚大な被害を受けた益城町を通りました。波打つ道路家が全壊、半壊している様子、瓦の崩れた多くの家、ブルーシートがかかっているたくさんさんの屋根、いまだ避難している方が大勢いる施設を、児童たちはバスの車窓か

ら食い入るように見ていました。それから熊本城です。熊本城も地震で被害を受け、現在は立ち入り禁止となっています。離れたところから見る熊本城も、かなりの被害を受けていました。実際目で見ると熊本の被害の様子は、想像以上に深刻なものでした。熊本の日も早い復興を願ってやみません。熊本城近くの城彩苑「桜の小路」でビュッフェ方式の昼食を食べて、家族へのお土産を購入しました。児童たちは時間いっぱい悩みながら、お土産を選んで買っていました。熊本空港に到着し、4日間お世話になった多良木町の引率の方にみんなでお礼とお別れを言って、飛行機に乗り込みました。

新千歳空港に到着し、バスに乗るため外へ出た児童たちは、多良木町との気温差に驚いていました。バスでぼろろに到着した児童たちは、出迎えてくれた保護者の前で、多良木町での感想を述べました。一言では言い表せないぐらいの楽しい思い出がたくさんできたようです。帰宅した後も、お土産話は尽きなかったことでしょう。



たかはし そうき
高橋奏稀君（左）
と黒肥地小/
かきやま ほづみ
柿山穂積君

僕が、多良木町に行って一番楽しかったことは、ラフティングです。なぜなら川の流れるスピード感があったからです。高いところから水に飛び込んだのも楽しかったです。民泊家庭では、笛口ケツなど花火をいっぱいしました。芦北や、海に行つて特に、海では日焼けをしてとても楽しかったです。2月には穂積君が来るので雪でいっぱい遊びたいです。



さかさばら まなか
神原愛加さん(右)
と多良木小/
なかがわ あいな
中川愛那さん

私は、熊本県多良木町に3泊4日行ってきました。その中で一番楽しかったことは民泊とラフティングです。民泊は、温泉に連れて行ってもらったり、豪華なご飯を用意してもらったり、いろいろな場所に連れて行ってもらいました。ラフティングは、岩から大ジャンプをしたりしました。皆と仲良くなれてとても楽しかったです！



たがき らいき
高木来希君（右）
と多良木小/
つねまつ たいき
恒松大喜君

僕が、多良木町に行って1番楽しかったことは、ラフティングです。ラフティングはめっちゃ高い崖から飛び降りたり、ボートの上でゲームをしたりめっちゃ急なところを下ったりして楽しかったです。僕が大基君の家に民泊したとき、うな重を食べさせてもらったり、けいすけくんや大喜君とゲームをして楽しかったです。訪問が終わり北海道に帰ってきた時なまって笑われました。2月に訪問される時はみんなで最高のおもてなしをします。



あいほら みずか
相原瑞香さん（右）
と久米小/
みやはら りずむ
宮原莉朱夢さん

まず初めに思ったことは、暑いということです。民泊家庭では、多良木町が一望できる山に連れて行ってもらったり、お父さんが参加している熊本地震のチャリティーコンサートを見に行ったり、夜に弟や妹と一緒に花火をしたこと、全て楽しかったです。ラフティングも北海道とは違って、迫力がありました。受け入れ時には北海道の楽しさを味わってほしいです。